



37  
百寿花瓶

鈴木長吉  
1対

明治27年(1894)

銀、鑄造 各口径18.4×高53.5  
三の丸尚蔵館

鈴木長吉(1848～1919)による一対の銀製花瓶で、それぞれの胴部に異なる字体の「寿」を縦に5文字ずつ20列、合計100字の「寿(百寿)」によって埋め尽くしている。胴部の寿字のほか、首部には菊花紋と雲文、台脚には青海波文が陽鑄されている。大婚二十五年に際して、司法次官清浦奎吾を総代として司法部内の勅任官奏任官判任官一同より献上された。

- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に出典を明記してください。また，図版を出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

明治の御慶事 — 皇室の近代事始めとその歩み

三の丸尚蔵館展覧会図録 No. 80

編集 宮内庁書陵部

宮内庁三の丸尚蔵館

翻訳 黒川廣子

発行 宮内庁

制作 艸藝社

平成三十年四月二十八日発行

© 2018

The Archives and Mausolea Department  
The Museum of the Imperial Collections, Sannomaru Shozokan  
Imperial Household Agency